



大藪組に入社して4年目の福永恵美子さん。土木業界とは無縁の仕事に就いていたが、縁あって新しい環境に飛び込んだ。そこでは学ぶことが多すぎて、深く悩む暇もなかったと笑う。身近な川が、どのように維持され守られているのか、整備する側に立って改めて見えてきたと福永さんは語る。福永さんの仕事への思いを伺う。

### ●技術職を選んだきっかけ

仕事を探しているときに、知り合いから紹介してもらい業界に入りました。見知った川沿いの景色、それを維持管理する仕事に自分が就くなんて考えたことがありませんでした。ここに入社する前は事務職でしたので、建設業界に関しては何の知識もなく、未知の世界に飛び込めるか不安だったのを覚えています。

### ●現場の魅力や責務

河川維持工事に従事し、堤防の除草や管理を担当しています。除草作業は伐採から焼却まで、それぞれに細かな規定が存在します。約20キロにわたる河川の維持管理を行う中で、地域住民の意見を反映し、現場環境をより良くすることが求められます。この仕事の魅力は、地域の声を直接聴きながら、安全で美しい河川を維持できる点です。

年間を通じて無事故無災害で工事を完了した時の達成感はひとしおです。責任感を持って業務に取り組み、地域社会に貢献できることにやりがいを感じています。

### ●仕事のこだわりやポリシー

仕事をする上でのこだわりは正確さと慎重さです。事務仕事の経験を活かし、書類の作成や管理には自信があります。現場書類については未経験でしたが、行政の評価にもつながるため、作成には細部に注意を払い、上司とも連携を取りながら進めています。

また、建設の仕事に限らず、現場の業務はチームワークが不可欠です。作業員とのたわいのない会話の中で、体調の変化に気づくこともあります。そのため、日々のコミュニケーションを積極的に行っています。互いの状況や考えを理解し合い、信頼関係を築くことで、仕事の質も向上します。

## 担い手シリーズ41

# 事務職から一転、 見慣れた川を守る 建設業界へ挑戦

福永 恵美子 入社4年目  
株式会社大藪組



### ●印象的な仕事

入社してすぐに起こった、令和3年8月豪雨の災害対応が忘れられません。河川氾濫警戒時には、急遽ポンプ車を設置し、河川の水位を常に監視しながら、地域住民の安全を守るために奮闘しました。雨が降りやまぬ中、迅速な判断と行動が求められました。初めて経験する緊迫した状況でしたが、この経験を通じて、河川の維持管理が地域の安全にどれほど重要かを改めて認識しました。

### ●今後の目標

今後の目標は一級施工管理技士資格の取得です。技術者としての経験が不足していることは否めませんが、その不足を補うために積極的に学び、日々の業務に反映していきたいと考えています。私には中学生の子供がいますが、会社は仕事しやすい環境を整えてくれており、大変感謝しています。

弊社の特徴ですが、事務から現場まで多くの女性社員が活躍しており、ロールモデルが存在しています。先輩たちの実績や経験が、仕事を続けやすい環境を作り上げてくれました。サポートや成長の機会が整っているからこそ、安心してキャリアを積み上げることができます。私自身も資格取得に向けて努力し、職場環境のさらなる向上に貢献したいと考えています。



福永 恵美子 (ふくなが えみこ)  
福岡県出身。福岡県立三潨高等学校卒業。令和3年4月入社。

会社概要  
株式会社大藪組  
〒833-0005 福岡県筑後市長浜2043-1  
TEL.0942-53-2151 FAX. 0942-53-7031

<https://oh-yabu.co.jp/>